

今月の経理情報

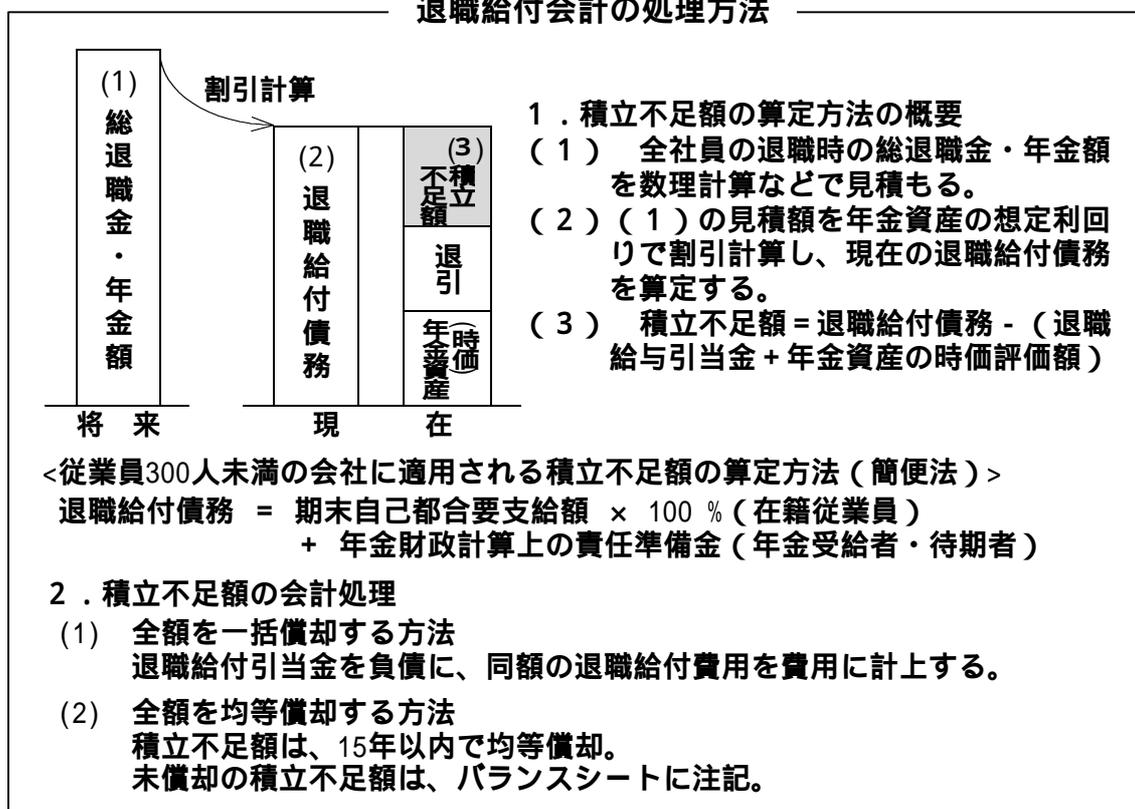
退職給付会計

公開会社では、今年の3月決算から退職給付会計が導入されました。
従来、つぎの理由から退職債務の計上不足が生じていました。

- 1) 退職一時金については、退職給与引当金を計上していても、税法の限度額までの場合が多かったこと。
- 2) 適格退職年金・厚生年金基金などの企業年金については、拠出掛金を計上するだけで、確定給付債務としての年金を実際に支払えるだけの年金資産があるか否かを考慮していなかったこと。

新会計基準の導入により、会社が将来負担する退職金・年金を債務に計上することで、決算書がより実態に近づくことになります。

退職給付会計の処理方法



お見逃しなく!

1. 非公開会社でも、財務上余裕のあるところは、今後退職給付会計の導入が進むものと思われます。
2. 日本版 401K 確定拠出年金法が国会で成立し、10月から施行されます。
従来の確定給付型年金にかえて、会社にとっては積立不足額の追加拠出の心配のない日本版 401K へ移行する会社の増加が見込まれます。
401K 導入は労使が合意した企業型確定拠出年金規約を策定する必要があります。
3. 退職給付債務の額の算定は、保険会社・信託銀行などが有料で行っています。